

## 目的に応じた伝え方を考えよう

「ニュース番組作りの現場から」「工夫して発信しよう」



五年（下）30 31ページ

五年（下）42 43ページ

### 1 この教材を選んだ理由

本単元は、情報活用単元として位置づけられており、説明文「ニュース番組作りの現場から」で学習したことを生かして、情報の伝え方を実践的に学習しようというものである。

「工夫して発信しよう」では、ビデオニュース作りという活動を通じて、情報の伝え方を学習する。情報を伝えるためには相手や目的を意識する必要がある。今までいくつかの方法で情報を発信してきた経験をもとに、高学年らしく効果的な表現方法を工夫する体験をさせたい。ビデオというメディアを用いることのメリットとしては、次の二点が考えられる。

- ・動画には映像の動きや音声があり、伝えたいことをより五感に訴えることができる。
- ・動画をパソコンに取り込んで編集することにより、作品に工夫を反映させやすくなる。

本事例では、「書くこと」の力を養う目的で、集めた材料を、目的に合わせて整理し、編集して伝える活動を中心に述べる。

## 2 学習のねらいと流れ

- ・自分が伝えたいこと、相手が知りたいことを考えて情報を発信する。
- ・集めた材料を目的に合わせて整理し、加工して伝える。
- ・伝えたい内容を表現するのにふさわしい方法を考える。
- ・話の組み立てを工夫しながら、適切な言葉遣いで話す。

## 3 主な活動の流れ

子どもたちは、四年生で、情報を選んで伝える学習を経験している。五年生では、選んだ情報の配列を考え、それを加工することに比重をかけたい。選んだ情報を加工するときには、今まで学習した原稿に書いたり、グラフや表に整理したりすることなどを生かすことができると考えた。

### ■単元指導計画（総時数14時間）

| 次（時）     | 学習活動                                                                                                                                                                                                                      | 活用機器                                                                       |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 一（1～5）   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ニュース番組作りの現場から」を読み、実際のテレビニュースがどのように作られているか、を知る。</li> <li>①教材を読んで、単元全体の学習活動を知り、学習の見通しをもつ。</li> <li>②「ニュース番組作りの現場から」を読んで、ニュース番組作りの過程と、その中で大事なことを知る。</li> </ul>                      |                                                                            |
| 二（6～7）   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオニュース作りの計画を立て、準備する。</li> <li>①参考になるビデオニュースを見て、イメージをもつ。</li> <li>②作りたいビデオニュースのおよその内容と構成を決め、必要な材料を集める。</li> </ul>                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> <li>・プロジェクト</li> </ul>   |
| 三（8～12）  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵コンテを作り、ビデオニュースを作成する。</li> <li>①絵コンテ（ビデオニュースの設計図）を作る。</li> <li>②音声（ナレーション）や文字（テロップ）の内容を含めた絵コンテ。</li> <li>③材料を編集する。（選ぶ↓配列する↓加工する）</li> <li>④ビデオニュースを見て気づいた点を修正して作品を上げる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> <li>・ビデオ編集ソフト</li> </ul> |
| 四（13～14） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビデオニュース発表会を行う。</li> <li>①作成したビデオニュースを見てお互いに評価し合う。</li> <li>②ビデオニュースの今後の活用について考える。</li> </ul>                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン</li> <li>・プロジェクト</li> </ul>   |

## 「第二次（第6時～7時）」

ビデオニュース作りの計画を立て、準備する。

今回は、既存の画像が利用できるキャンプという学校行事を材料に、相手や目的によって編集を工夫することを主なねらいとした。皆で昨年度の子どもたちが作った作品を見た後、自分が作りたいビデオニュースのおよその内容と構成を考えさせた。このとき、キャンプのどの題材をどんな順序で並べていくのか、ワークシート①に書かせた。ワークシート①は、次で学習する絵コンテ作りの前段階で、「だれに対して」「何のために」「どの題材を」「どんな順序で」等の観点から、自分が伝えたいことを整理することが目的のシートである。ここでは、書く能力の育成という観点で、題材の並べ方に着目させた。ほとんどの子どもたちは「事柄の順序を意識して、題材を



キャンプの日程どおりに並べており、順番を変えて表現の効果をねらうような工夫は、まだ見られない。

ワークシート①に書いた内容をもとに、キャンプで撮影した動画・静止画を閲覧し、その中から自分の作品作りのイメージに合ったものを選んでいく。

## 「第三次（第8時～12時）」

絵コンテを作り、ビデオニュースを作成する。

### ① 絵コンテを作る。

ここで、ワークシート②の絵コンテを作る。絵コンテは、自分が作りたいニュースの内容を絵といっしょに書き込む、いわば設計図である。具体的には、それぞれの画像の

ワークシート①▶

◀ワークシート②

時間、内容、そして、それらの画像に入れる音声（ナレーション）や文字（テロップ）の内容を書き込んでいくことになる。画像だけでは伝えられない場合には、ナレーションが必要になる。自分が強調したい画像ならば、そこには音声が必要になる。ナレーションや文字は、自分が伝えたいことをより明確にすることにつながる。特に、ワークシート①で書いた「何を、だれに」という、相手意識と目的意識をたえずもたせるようにした。子どもたちには、自分が何を伝えたいのかと投げかけることで、事柄の中心を意識させて書かせた。こうして絵コンテを書くことで、自分が伝えたい情報をより明確にして、取捨選択する力を育てることができ。ここでの学習は、全体を見通して、書く必要のある事柄を整理する能力の育成につながる。まずは、自分が伝えたいことをきちんと考え、その内容を書き込むことを通して、音声化するもの、文字化するものを意識させたかった。以上の作業の後、音声や文字を具体的に準備していく。

### ② 材料を編集する。（選ぶ↓配列する↓加工する）

子どもたちは自分が書いた絵コンテをもとに、ビデオ編集ソフト上に動画・静止画を並べていく。このとき、指導のポイントにしたのが、絵コンテと照らし合わせながら表現の効果を確かめたり工夫したりすることである。ビデオは試写してみないと全体の仕上がりが見えない。今までの新聞作り

などの学習で培った情報の配列や表現の工夫を、実際に動画を並べ替えることに生かすことができるかと考えた。

自分で何度も映像を再生しながら、ときには、前の段階の絵コンテに戻り、もう一度書き直すことは、自分が伝えたいことを見つめ直し、より主張が明確になるものであることを指導した。

そのような繰り返しは、必ず書くことの能力の育成につながる学習活動であるからである。この段階になると、徐々に、子どもたちは動画・静止画を並べ替え、順番を変えて表現の効果をねらうような工夫を始めた。集めた材料を、目的に合わせて整理し、編集して伝える活動を行うことが意識化できるようになった。



今回のビデオニュース作りの実践を通して、子どもたちは、自分の意図を相手にわかりやすく伝えるためにはどうすればよいか、しっかりと考えることができた。言語事項などの基本的な部分も含めて子どもたちに問題解決させることが、国語力の向上につながっていくと考えている。